

地域のお寺で子ども食堂を開催！

事業実施主体：株式会社日本海開発(石川県)

- 能美市には、丸いもや国造柚子、ハト麦、米といった地域特産品があるものの、農業の後継者不足という課題を抱えていることから、子どもの頃から食育を推進し、地産地消への興味・関心を持ってもらうことが必要である。
- このため、地域のお寺を利用し、子ども食堂を開催した。地域内の農家や住民を幅広く招待し、共食の場を通じて食文化の継承が促進できるよう昔ながらの食器を使い、伝統的作法等をより深く学べるような工夫を行った。
- 小学生を中心とした若い世代が食に関する意識を高め、身につけた知識を健全な食生活につなげていくことができるようにするため、共食の場で地域住民との交流を行うことで、食の大切さや地産地消への理解の増進を図った。

石川県
能美市



【取組の内容】

○ 子ども食堂の開催

地域のお寺を活用し、地域内の農家や住民が幅広く参加できる子ども食堂を開催した。

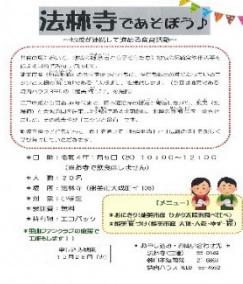
- ・ 法林寺1月5日 小学生・市民12名
- ・ 誓立寺1月7日 小学生・市民13名

■ 能美市産(根上・寺井・辰口3地区)のお米でおにぎりを作り、昔ながらの竹皮に包んで仕上げ、産地の違う3種類のおにぎりを食べ比べてもらった。

■ 能美市産の材料をふんだんに使った「大根寿司」を提供し、大根寿司が石川に根付いた歴史なども紹介することで、伝統的な食の文化や作法等をより深く学べるような工夫を行った。



子ども食堂の様子



【取組の成果】

- 学校においては共食の場における食育活動の体験を、家庭科の宿題に活用してもらい、家族との会話のネタにってもらうなど、コミュニケーションツールとしても機能させることができた。
- 事業で実施した各種取組については、当社のホームページなどに掲載した。また、新聞社などにも取り上げてもらい、能美市以外にも広く広報活動ができた。

<事業実施後に行ったアンケート結果>

- 地域等で共食したいと思う人が共食する割合の増加
目標値 73% ⇒ **88.9%(15.9ポイント上回る)**
- 食品を購入する際に「産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ」とする者の割合の増加
目標値 75% ⇒ **89.7%(14.7ポイント上回る)**